



安心して学校生活を送るために

准校長 岩崎 健治

桜の花が散り始めるとともに、木々の緑は日増しに濃くなり、さわやかな季節となってきました。正門にある花壇には、植栽活動で植えたチューリップやパンジー、ビオラの花が色鮮やかに咲いています。日頃より、本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、ありがとうございます。

さて、新年度が始まって二週間がたちました。子どもたちは、入学・進級の喜びや希望に輝いているように見えます。一人ひとりがそれぞれめあてをもち、これがんばるんだ、こんなことに挑戦するんだと、やる気にあふれているからだと思います。

1年生にとってはすべて初めてのことばかりですが、いつも新しいことを吸収する喜びに目を輝かせています。不安になるのではなく、新しいことにチャレンジして楽しむかのようです。不安なく生活できる理由の一つに、本校が大切にしている縦割り活動が大きな力を発揮しています。1年生がスムーズに小学校生活を送れるように、ペア学年の6年生が入学式当日からいろいろな場面で、やさしく1年生を見守ってくれています。集団登校では、何度も何度も後ろを振り返り、1年生をはじめ下級生がきちんとついてきているか確認している姿が見られました。給食の片づけの時には、1年生が自立できるように細かいところまで教えてくれます。牛乳パックは、リサイクルのために、パックを開いてからかごに並べて乾かすのですが、この作業は1年生には難しいものです。それを実に丁寧に一緒に作業をしながら教えてくれたので、1年生は自分たちでもできるようになってきています。優しくて頼りになるお兄さん、お姉さんのおかげで、1年生は安心して小学校生活のスタートをきることができたようです。きっと6年生も小学部最高学年としての自覚ややりがいなどを実感していることと思います。

子どもたちが安心して学校生活を送るためには、学校が安全な場であること、自分の居場所があること、教職員や仲間と信頼関係をもてることなどが大切だと考えます。

また、子ども一人ひとりが、自尊感情をもつことも安心につながっていくのだと思います。自分自身がかけがえのない存在であると感じ、自分を大切に思えることによって、意欲や満足感をもち、自分に対しても他者に対しても受容的になることができるからです。

自尊感情を高めるには、「子どもをほめること」がとても大切です。学校や家庭、そして地域でも、様々な場面で、子ども一人ひとりのよさを積極的にほめながら、子どもたちを育てていけたらと思っております。今後も誰もが、安心して豊かに学校生活を送ることができるよう、全教職員が一丸となり、地域の中の学校として、保護者の皆様、地域の皆様と共に、邁進していきたいと思います。



中学部9年生は、来週に控えた沖縄修学旅行に向けて取組を進めています。昨年度、平和への祈りを込めて縦割り班で作った折鶴を持参します。